

## CONTENTS

### ●特集 1

食肉需給の動向について

### ●特集 2

信州ハム株式会社のSDGsへの取り組みについて

### ●窓

第88回 日本ハム・ソーセージ工業協同組合  
監事 外狩 光一氏(日本ウイナー株式会社 代表取締役社長)  
「食肉加工業について」

### ●業界をめぐる動き

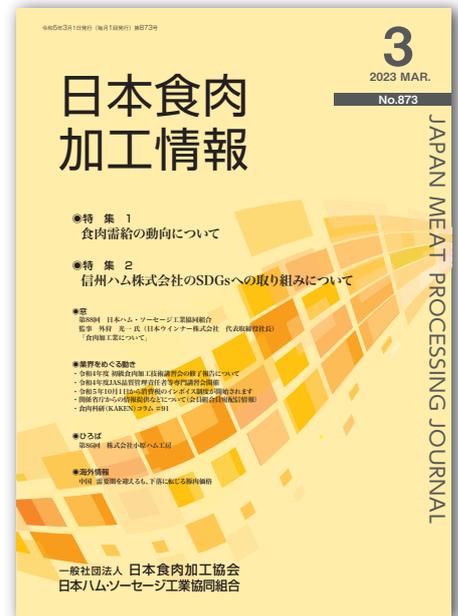
- ・令和4年度 初級食肉加工技術講習会の修了報告について
- ・令和4年度 JAS品質管理責任者等専門講習会開催
- ・令和5年10月1日から消費税のインボイス制度が開始されます
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・食肉科研(KAKEN)コラム #91

### ●ひろば

第86回 株式会社小原ハム工房

### ●海外情報

中国 需要期を迎えるも、下落に転じる豚肉価格



内容をちょっと読み



SPECIAL  
EDITION

## 特集 1

### 食肉需給の動向について

岡崎 崇 農林水産省畜産局食肉鶏卵課食肉需給班

#### 1. 食肉需給の概要

##### (1) 食肉消費量の推移

我が国における1人当たりの食肉消費量は、昭和35年以降、日本人の食事内容が西洋化したことなどにより、平成10年頃まで大きく増加した。その後は、食生活の西洋化の定着、少子高齢化の進展等が相まって、おおむね横ばいで推移してきたが、近年、焼肉や牛丼、ハンバーガー等の外食を中心に食肉全体の消費量は一層拡大しており、令和3年度には、牛肉6.2kg、豚肉13.2kg、鶏肉14.4kgとなり、合計では過去

最高を更新して33.8kgとなった。

特に豚肉は、価格が牛肉と比べて安価であることに加え、調理や加工向けの用途が豊富であることなどから、1人当たりの消費量は牛肉・鶏肉と比べて高い水準で推移してきた。平成に入る頃には、豚肉消費量の伸びは横ばいとなったものの、平成10年代には、国内外での牛海綿状脳症(BSE)の発生や、タイ・中国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、牛肉・鶏肉からの代替需要が生じ、再び増加傾向となった。

続きは定期購読で!

#### 定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp